

第6回 市民会館の整備検討懇談会

令和2年10月19日

観光文化交流局文化歴史まちづくり部文化振興室

目 次

1	新たな劇場の管理運営検討	…3
1)	【再掲】ミッション、位置づけ、役割	…4
2)	事業計画について	…6
3)	組織計画について	…13
2	新たな劇場の施設構成案	…18
1)	施設の方向性	…19
2)	施設配置イメージ	…30

1 新たな劇場の管理運営検討

1. 新たな劇場の管理運営検討

1) 【再掲】ミッション、位置づけ、役割

■ ミッション

文化芸術の裾野拡大
(劇場文化の浸透)

■ 位置づけ

人々が楽しみ、引き込まれ、心打たれる
文化の香り高い名古屋の心つながる象徴拠点

■ 役割

ポップからハイカルチャーまで
より多くの人々が興味を引き
起こされる公演の上演施設

- ・ 話題性ある演目で劇場に訪れるきっかけを創出し劇場への親近感を醸成
- ・ 多様な演目に触れる機会を提供
⇒文化芸術への幅広い興味を誘発
頻繁に訪れたい施設に
- ・ 専門的人材を配置し、主体的に魅力ある事業を実施

市民の多様な文化活動を
促進する、名古屋発/初文化
の中核となる施設

- ・ 名古屋文化の発展育成の拠点に
- ・ 市民とともに名古屋発/初の文化芸術を発信・集積
- ・ 市民の様々なジャンルの文化芸術活動に対応
- ・ 魅力ある“ハレの場”をつくる

市民が気軽に訪れる、
人と文化の交流結節拠点
～感動と出会い、まちと
繋がる、開かれた劇場～

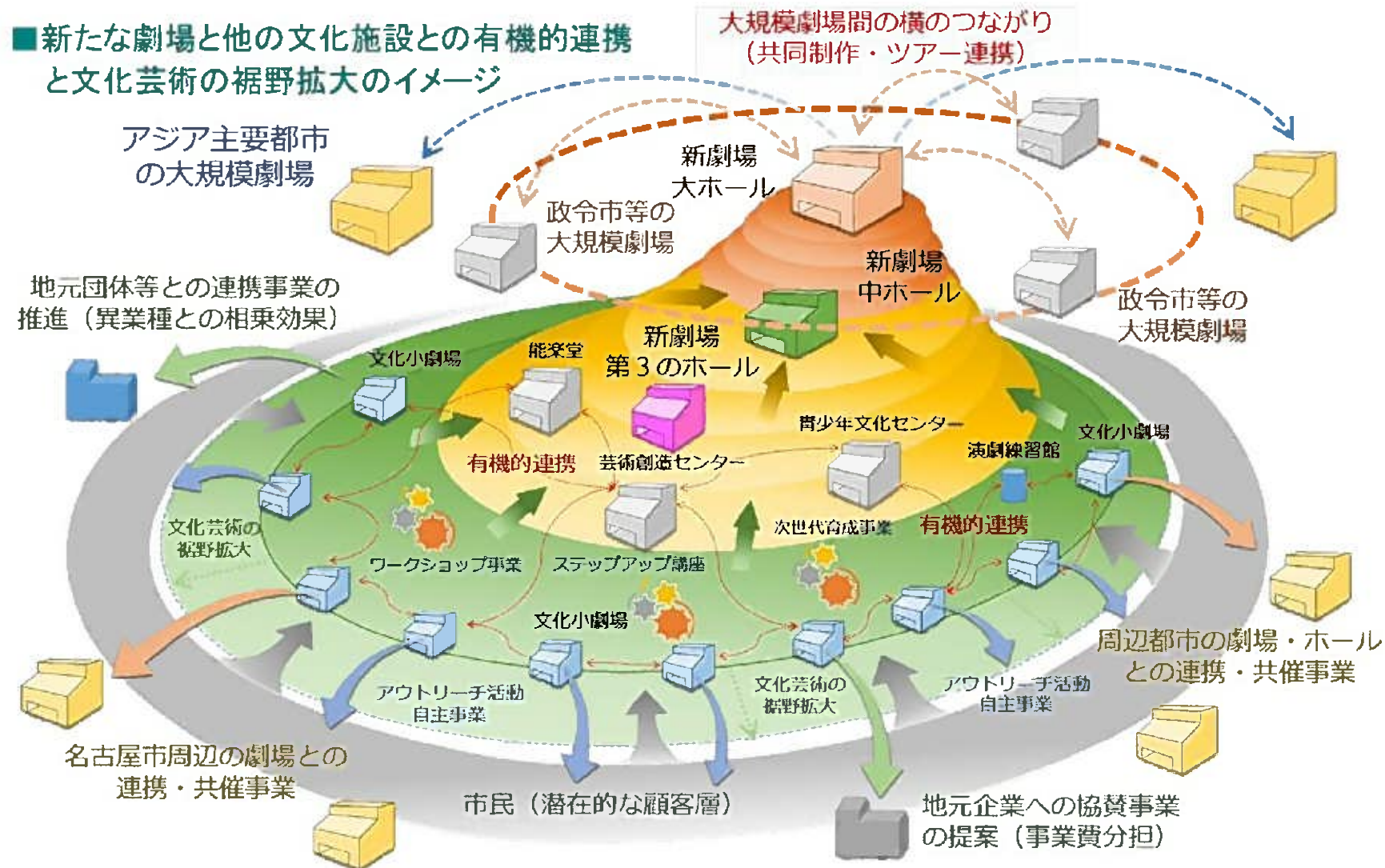
- ・ 日常的に多様な人々が集い、賑わいを生み出す、新たな交流拠点
- ・ “いつでも、誰でも、何かを経験できる”魅力的な空間や機会を提供
- ・ 居心地が良く、一日中過ごしたくなる、市民の快適な居場所

■ 整備・事業運営の方針

- ・ 国内外から注目され、市民の誇りと親しみを呼び起こす劇場
- ・ より多くの人々が劇場に訪れる“きっかけ”となる公演の実施
- ・ 市民の文化芸術活動を支え、発表の機会を生み出す環境づくり
- ・ 人と文化芸術が盛んに行き交う、当地域を代表する文化交流拠点

1. 新たな劇場の管理運営検討

1) 【再掲】ミッション、位置づけ、役割



- ・ 文化団体の活動の魅力や評価が高まるとともに、集客力に応じて求められる劇場の座席数が拡大
- ・ 文化芸術に対する市民の興味・関心が高まると同時に、より大きな・上質な劇場を志向する

1.新たな劇場の管理運営検討

2) 事業計画について

(1) 自主事業の基本的な考え方

I.幅広い世代の興味を誘発する多様な事業の展開

多角的なアプローチにより、幅広い世代へ鑑賞機会を提供

II.文化芸術活動における共創を促進

人と人、施設と施設等の「連携」を生み出し、
市民が新しい劇場体験を享受できる、多様な文化芸術活動を促進

III.文化力を底上げする仕組みの構築

これからを担う人材の育成や、
多くの市民が劇場を身近に感じられる機会の創出

IV.開かれた劇場としての交流機会の創出

誰もが気軽に集える交流機会を提供し、
金山のまち独自の賑わいを創出

1.新たな劇場の管理運営検討
2) 事業計画について

(2) 自主事業区分と内容

区 分	内 容
鑑賞事業	・バラエティーに富んだ演目で、幅広い世代のニーズに応える公演を実施 ・国内外の他都市との共同・ツアー連携事業を推進し、鑑賞機会を拡充 ・気軽に文化芸術を体感できるオンライン配信を積極展開
創造・活動事業	・新たな劇場を中核とした、アーティスト同士の交流促進 / 施設間の連携促進 ・新進アーティストやエンジニア等と連携し、先端芸術表現の創作を促進 ・障害の有無や年齢、国籍等を問わない、多様な価値観をもつ表現活動を促進
普及・育成事業	・市内文化施設と連携した、次世代の実演家・文化芸術を支える人材の育成 ・誰もが気軽に劇場文化に触れられる機会の提供 ・オンラインを活用した、時間や場所を問わず学べる機会の提供
交流・まちづくり事業	・金山エリアの活性化、回遊性を生み出すフェスティバル等の開催 ・エントランス、屋外広場や近隣施設での気軽に立ち寄れるイベント等の開催 ・金山独自のカルチャーを活かした新たなディスティネーションの構築

- 1.新たな劇場の管理運営検討
- 2) 事業計画について

(3) 自主事業イメージ (案)

鑑賞事業

A. "文化芸術の裾野拡大"コンテンツ

需要の高いコンテンツや、話題性のある良質なコンテンツなどを積極的に展開し発信。

B. 他都市との共同・連携事業

名古屋市だけでなく、東京や大阪などの大規模都市や、アジア圏、海外姉妹都市等との共同制作やツアー連携を積極的に実施。

C. メディア・動画配信サービス

ウィズコロナ・ポストコロナを見据え、アーカイブ配信やライブ配信などを積極的に展開。

- 1.新たな劇場の管理運営検討
- 2) 事業計画について

(3) 自主事業イメージ (案)

創造・活動事業

A. 文化芸術コーディネート事業

新たな劇場が中心となって、実演家や文化芸術を支える人材等の交流機会、市内の教育機関やその他文化施設等との連携を促進。

B. 先端芸術表現創造ラボ

新進アーティストやエンジニア等の連携を促進し名古屋発/初の先駆的な芸術を創造発信。

C. ソーシャルアート事業

様々なアーティストや市民によるワークショップ、アウトリーチ等を通して、障がいの有無や年齢国籍等を問わない多様な価値観を持つ表現活動を促進。

- 1.新たな劇場の管理運営検討
- 2) 事業計画について

(3) 自主事業イメージ (案)

普及・育成事業

A. 次世代劇場人育成事業

アーティストや舞台技術者等多様なジャンルの人材育成を実施。
(芸術創造センター・青少年文化センター等との共同事業を検討。)

B. オープンシアター活動

文化芸術の裾野拡大の第一歩として、普段目にする事の出来ない
制作現場や舞台設備などを積極的に公開。

C. オンライン・シアタークラス

「開かれた施設」として、市内の子どもや学生、若手アーティスト、社
会人等を対象にオンラインを活用して多様な情報・レッスン・講義等を
配信。

- 1.新たな劇場の管理運営検討
- 2) 事業計画について

(3) 自主事業イメージ (案)

交流・まちづくり事業

A. エリアコラボレーション事業

金山エリア一体のにぎわい創出のため、金山駅や商業施設、教育機関等と連携し、まちフェスやパブリックビューイング、合同文化祭等を実施。

B. まちかどイベント事業

エントランス、屋外広場や近隣施設のスペースを有効活用し、日常的に鑑賞・交流機会を創出。

C. 金山カルチャー活性化事業

金山のまち独自のカルチャーを活性化して、ナイトタイムエコノミーも推進する事業を展開。

- 1.新たな劇場の管理運営検討
- 2) 事業計画について

(4) 貸館事業の基本的な考え方

I. 文化芸術の裾野拡大につながる利用の拡大

- ・ 設置目的の達成に資する柔軟な利用規則の検討
- ・ 人々の興味を誘発する、話題性のある演目の積極的な利用促進

II. アーティストの多様な創造活動の受け皿

- ・ 先駆的/実験的創造活動をはじめ利用者の要望に柔軟に対応できるサポート体制の構築

III. 文化芸術団体等への積極的なサポート

- ・ 文化芸術活動の活性化や水準向上を図るため、専門家等による文化芸術団体等への支援を実施
- ・ 市民に寄り添った居心地の良いサービスの提供

1.新たな劇場の管理運営検討

3) 組織計画について

(1) 一般的な業務体制

部門	担当	内容
統括	館長、副館長	* 全体のマネジメント・統括責任
	芸術監督	* 自主事業の芸術性に係る責任、監督
事業	プロデューサー、 ディレクター、制作	* 自主事業の企画立案・制作
貸館	利用受付、営業、 インフォメーション	* 利用受付等対応
舞台技術	舞台、照明、 音響、映像	* 舞台特殊設備の操作、維持管理 等
維持管理	設備、清掃、警備	* ビルメンテナンス
その他	広報、票券、 友の会運営、 フロントスタッフ、ボランティア 等	* 広報・チケット販促 * 友の会運営 等

1.新たな劇場の管理運営検討

3) 組織計画について

(2) 想定される運営主体パターン

A.直営 (一部業務委託を含む)

設置者である地方公共団体の所管組織が自ら運営すること。
(当該地方公共団体と関係の深い公益財団法人等が管理委託を受けて運営することを含む。)

B.公募指定管理者

地方公共団体により公募等で指定された管理者に、包括的な管理運営業務を代行させること。

<主な特徴>

A.直営	B.公募指定管理者
○文化施策を直接反映させることができる ○地域住民との協働が容易	○サービスの向上 ○高いコスト意識による市負担の軽減
×人事異動等によりノウハウが継承されにくい ×専門的人材の確保が必要 ×高コスト	×非効率・非収益事業に消極的 ×指定期間の切替による人材・事業の不安定化

1.新たな劇場の管理運営検討

3) 組織計画について

(2) 想定される運営主体パターン

	パターン①	パターン②	パターン③	パターン④
維持管理	指定管理者 (民間・公益財団法人)	指定管理者 (民間)	指定管理者 (民間)	指定管理者(民間)
貸館・技術				直営・公益財団法人へ委託
事業			直営・公益財団法人へ委託	
特徴	○民間事業者の場合、そのノウハウを活用した新しい事業が期待できる。 ○公益財団法人の場合、市の文化施策の反映が容易。 ○事業と貸館の連携が容易。	○民間事業者のノウハウを活用した新しい事業が期待できる。 ○公益財団法人により市の文化施策の反映が容易。 ○指定管理者が変更されても、公益財団法人により事業の継続性が担保される。 ○事業と貸館の連携が容易。	○公益財団法人により、市の文化施策の反映が容易。 ○指定管理者が変更されても、公益財団法人により事業の継続性が担保される。	○公益財団法人により、市の文化施策の反映が容易。 ○指定管理者が変更されても、公益財団法人により事業の継続性が担保される。 ○事業と貸館の連携が容易。
課題	△民間事業者の場合、事業の仕様を具体的に表さないと、市の文化施策の反映が困難。 △指定管理者が変更されると、事業の継続性が失われる恐れがある。	△運営者が分かれるため、強固な連携・運営体制が必要。 △事業の担当区分を明確にする必要がある。	△事業に民間のノウハウを活用することができない。 △事業と貸館の連携が困難。	△事業に民間のノウハウを活用することができない。
事例	名古屋市民会館	高知市文化プラザかるぽーと	オリンパスホール八王子	いわき芸術文化交流館アリオス

1.新たな劇場の管理運営検討

3) 組織計画について

(3) 事業における専門家の活用

新たな劇場の検討における専門家を下記のように定義付ける。

専門家	本計画における定義
芸術監督	「新たな劇場の顔」また「芸術面の総責任者」として、創造活動の主導、および自主事業における芸術面の責任と権限を有する。
プロデューサー	「当該ジャンルの専門家」として、市内で行われる創作・普及・育成活動への指導・助言、および市内外との共同事業や連携事業等の推進に関する責任と権限を有する。
コーディネーター	「新たな劇場と地域をつなぐ専門家」として、市内外における文化芸術活動のバックアップやさらなる連携の促進、およびアウトリーチ等の地域連携活動の推進に関する責任と権限を有する。

1.新たな劇場の管理運営検討

3) 組織計画について

(3) 事業における専門家の活用

新たな劇場のミッション「芸術文化の裾野拡大」達成のためには、独自の事業展開と同時に、市内の連携を促すことが求められる。

	A. 単独の専門家	B. 複数の専門家
プラス面	・当該人材の感性や蓄積を活かした特色のある事業展開が期待できる ・著名人材を抱えることで施設の宣伝効果が期待できる	・独善的にならず、専門家の持ち味を活かした多様性のある活動が可能になる
マイナス面	・事業に偏りが生じるおそれがある ・多忙な著名人の場合、地域との関係を築けず、名目的なものになるケースがある ・行政と芸術文化のパイプ役となる適材が少ない ・事業運営の全権を個人に委ねるためリスクも大きい。	・活動における強烈な個性をもちにくい ・一貫性のない企画になる恐れがある
課題	・リスクヘッジとして人選をコンペで行ったり、任期権限の明確化をはかるなどの方策をもつ必要がある。 ・当該人材の発想を生かせる支援スタッフの配置が欠かせない。	・権限の分散化により、個人への権限集中の弊害は免れるが、企画全体への責任などを明確にしていく必要がある
想定体制	パターン①：芸術監督1名のみ配置 パターン②：プロデューサー1名のみ配置 パターン③：コーディネーター1名のみ配置	パターンA：ジャンル毎に同列の専門家配置 (複数芸術監督制、複数プロデューサー制、複数コーディネーター制) パターンB：異なる専門家の複数配置 (芸術監督1名とジャンル毎のプロデューサー、ジャンル毎のプロデューサーとコーディネーター、等)

2 新たな劇場の施設構成案

2. 新たな劇場の施設構成案

1) 施設の方向性

(1) 想定諸室概要

機能	基本コンセプト	諸室名称	諸室用途概要	備考
ホール機能	聴くホール	大ホール	・客席数2000～2200席を想定 ・音楽を中心とした多様なジャンルの商業公演に利用	・固定席
	観る・魅せるホール	中ホール	・客席数1300～1500席を想定 ・演劇・舞踊から伝統芸能まで魅力のある公演や市民の文化芸術活動の発表	・固定席
	体感するホール	第3のホール	・客席数800～900席を想定 スタンディング時1700～1800人程度 ・演劇や軽音楽の公演、多様なジャンルの新演出に対応	・平土間 ・ステージ・客席可変
創造・活動拠点機能	あらゆる人々の交流結節拠点	スタジオ	音楽・演劇・ダンス等練習の場 各ホールのリハーサル室を兼ねる	・本番利用も想定
		練習室	音楽（クラシック・バンド等）・演劇・ダンス等練習の場	・遮音性能有
		会議室	各種会議や研修の場、他多用途に利用	・遮音性能無 ・配置により楽屋利用も可能
交流機能		共通ロビー・イベントスペース	施設全体の共通ロビー空間 鑑賞目的のない人でも気軽に訪れることができる開かれた場 日常的にイベントを実施し、施設に賑わいをもたらす場	・外部空間との連続性を考慮
		カフェ等	施設併設のカフェやレストラン、飲食店	・共通ロビーに面するエリアに設置
		情報スペース	文化芸術に関する情報を一元的に集約したスペース	・共通ロビーに面するエリアに設置

2. 新たな劇場の施設構成案

1) 施設の方向性

(1) 想定諸室概要

①ホール機能

大ホール

基本コンセプト	「聴くホール」
	・名古屋における文化芸術のランドマークとなり、国内外から集客する“名古屋の実演芸術の殿堂”にふさわしい空間 ・東海圏におけるクラシック音楽の発信拠点として重要な役割を担ってきた現市民会館の機能を継承
規模・性格	・2000～2200席 ・主目的／音楽（軽音楽・クラシックなど） ・プロセニウム
主な利用形態	・ポピュラー音楽を中心とした国内外の著名アーティストの興行 ・名古屋フィルハーモニーや他の交響楽団によるクラシック音楽 ・ミュージカルや商業演劇等の公演 ・話題性の高い演目や最新機能・設備による最先端の演目の上演・鑑賞機会提供 ・従来の貸館における興行利用と、運営者による自主事業利用をバランスよく実施

2. 新たな劇場の施設構成案

1) 施設の方向性

(1) 想定諸室概要

①ホール機能

中ホール

基本コンセプト	「観る・魅せるホール」
	・ 多様な公演需要に対応でき、 話題性が高く魅力のある公演の場として選ばれる劇場 ・ 市民の多様な文化芸術活動を発表する“ハレの場” に相応しい上質な空間
規模・性格	・ 1300～1500席 ・ 主目的／軽音楽、邦舞・洋舞など ・ プロセニウム
主な利用形態	・ 現市民会館でも利用されている邦楽・邦舞等といった花道等を活用した 伝統芸能公演 ・ バレエ・現代舞踊など地元洋舞家団体等の公演 ・ 市民の文化芸術活動のハレの場となる公演 ・ 音響反射板を用いたクラシック音楽の公演 ・ 多様なジャンルの商業公演 ・ 実演芸術の魅力に触れる機会を市民に提供する自主事業 ・ 話題性の高い演目や最新機能・設備による最先端の演目の上演・鑑賞機会提供

2. 新たな劇場の施設構成案

1) 施設の方向性

(1) 想定諸室概要

①ホール機能

第3のホール

基本コンセプト	「体感するホール」
	・ 様々な演目に対応でき、ステージ・客席を一体として演出可能な空間 ・ 最先端の演出・演目に対応できる設備 ・ 多様なジャンルの先駆的な演目の上演に対応可能
規模・性格	・ 800～900席、スタンディング時1700～1800人程度 ・ 主目的／演劇・軽音楽など ・ 平土間空間・可動客席とし、舞台位置・客席配置を変更することで様々なステージ形式に対応可能 ・ ステージと客席を一体の空間として演出可能
主な利用形態	・ 現在の中ホールで行われている演劇や軽音楽の公演 ・ 最新機能/設備による先駆的、実験的な演出による体験型コンテンツ ・ アート・舞台芸術の融合作品等の上演 ・ ナイトタイムエコノミーを想定したエンタテインメント

2. 新たな劇場の施設構成案

1) 施設の方向性

(1) 想定諸室概要

①ホール機能

第3のホール

利用想定コンテンツ事例	
同時配信 ライブストリーミング	著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。
映像や音声をリアルタイムで配信・データ変換し、そのままストリーミング再生する演出。	
プロジェクションマッピング	著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。
プロジェクタを使用して映像を投影するシステム。建築そのものや床等に様々なテクスチャを投影することが可能。	
客席一体型(無線制御)	著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。
客が持つLEDライトを無線で一斉制御し、舞台演出の中に組み込むことで、舞台と客席の一体感を創出するシステム。パフォーマーが任意のタイミングで制御することも可能。	

2. 新たな劇場の施設構成案

1) 施設の方向性

(1) 想定諸室概要

②ホール機能以外

基本コンセプト	「あらゆる人々の交流結節拠点」
	・ “いつでも、誰でも、何かを経験できる”総合的な文化芸術交流拠点 ・ 外部空間と一体となってまちに賑わいをもたらす、訪れやすく立ち寄りやすい、常に開かれた場 ・ 新たなアイデアや取り組みを誘発してくれる空間

創造・活動拠点機能

- ホールでの本番を想定したリハーサルや練習などに対応できる諸室を整備する
- 音楽からダンス、芝居まで多様なジャンルに対応する
- ホール本番利用時もアクセス可能な配置とする

スタジオ

- ・ 大ホール、中ホールの主舞台と同程度の広さを確保する。
- ・ 最先端の演出・演目に対応できる音響や照明などの設備を備え、本番利用にも対応可能とする。
- ・ 各ホールのリハーサル室を兼ねる。
- ・ 音や振動に配慮した性能を確保する。

練習室

- ・ 様々な利用形態（音楽・演劇など）や利用人数に対応可能な規模および仕様とする。
- ・ 音や振動に配慮した性能を確保する。

会議室

- ・ 各種会議や研修等、多用途での利用が可能な空間とする。
- ・ 各ホールの控室としても利用可能な配置とする。

1) 施設の方角性

創造・活動拠点機能

- ホール主舞台と同程度の広さを確保した平土間空間が基本
- 日常的な練習やワークショップの他、ホール本番利用時のリハーサル場として利用
- 大規模なスタジオでは、移動観覧席を備えることで本番利用も可能となっている ※移動観覧席有の施設
- 最先端技術を用いた先進的な演出や、さまざまなジャンルの演目の上演が可能な空間

大 ←————→ 小

著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております

山口情報芸術センター
スタジオA (約800m²) ※

神奈川芸術劇場
大スタジオ（405m）※

山口情報芸術センター
スタジオB (約300m²)

いわき芸術文化交流館
中リハーサル室(171.8㎡)

著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。

札幌文化芸術交流センター
クリエイティブスタジオ (448m²) 

神奈川芸術劇場
中スタジオ+小スタジオA (401㎡)

いわき芸術文化交流館
大リハーサル室(243m)

神奈川芸術劇場
小スタジオB/アトリエ (149㎡)

2. 新たな劇場の施設構成案

1) 施設の方向性

(1) 想定諸室概要

②ホール機能以外

交流機能

- 鑑賞や練習などの目的がなくても、居心地よく、一日中過ごしたくなる場として、気軽に文化芸術に触れ、親しむことができる諸室や空間を整備する。
- 人々が気持ちよく滞在し、文化芸術に関わらず多様な活動や交流を生むスペースとする。
- 施設利用者にとって、わかりやすく使いやすい諸室構成や配置、動線となるよう留意する。
- 外部空間との連続性に留意し、敷地周辺環境と一体的に検討する。

共通ロビー・イベントスペース

- ・鑑賞目的のない人でも気軽に訪れることができる、常にかかれた場として、共通ロビーを整備する。
- ・共用部には日常的にイベントを行うことが可能なスペースを設け、にぎわい創出の場とする。
イベントがない場合には、椅子・テーブルを設置し、市民の憩いの場としての利用を可能とする。

情報スペース・カフェ等

- ・共通ロビーに面した箇所には、市内の文化芸術に関する情報を一元的に集約したスペースの他、カフェ等の設置を検討し、市民の来館を促す。

2. 新たな劇場の施設構成案

1) 施設の方向性

(1) 想定諸室概要

②ホール機能以外

交流機能イメージ		
カフェ等	情報スペース	外部空間との連続性
著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。 神奈川芸術劇場	著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。 武蔵野プレイス	著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。 立川ステージガーデン 茅野市民館
著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。 ベルリン シャウビューネ劇場	著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。 金沢21世紀美術館	著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。 金沢21世紀美術館 ポンビドゥー・センター
著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。 ロームシアター京都	著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。 ロームシアター京都	

2. 新たな劇場の施設構成案

1) 施設の方向性

(1) 想定諸室概要

②ホール機能以外

交流機能イメージ	
共通ロビー・イベントスペース	
	通常時
著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。	著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。
東京芸術劇場	札幌文化芸術交流センター（SCARTSモール）
著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。	著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。
ヘルシンキ中央図書館	須賀川市民交流センター（でんぜんホール）
著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。	著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。
DOKK1（デンマーク）	山口情報芸術センター（ホワイエ）

2. 新たな劇場の施設構成案

1) 施設の方向性

(2) 想定諸室の配置イメージ

著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。 前に掲げた場として、文化芸術に関わらず多様な活動や交流を生むスペースを配置している施設事例

北上市文化交流センター さくらホール

アートファクトリーと呼ばれる大・小21室の練習室・和室を、各ホールに囲まれるように配置。各室をガラス張りとすることで、共用部から室内の活動の様子を伺うことができ、施設内ににぎわいを創出している。共用部にはさまざまな滞留空間が配置され、市民の憩いの場となっている。

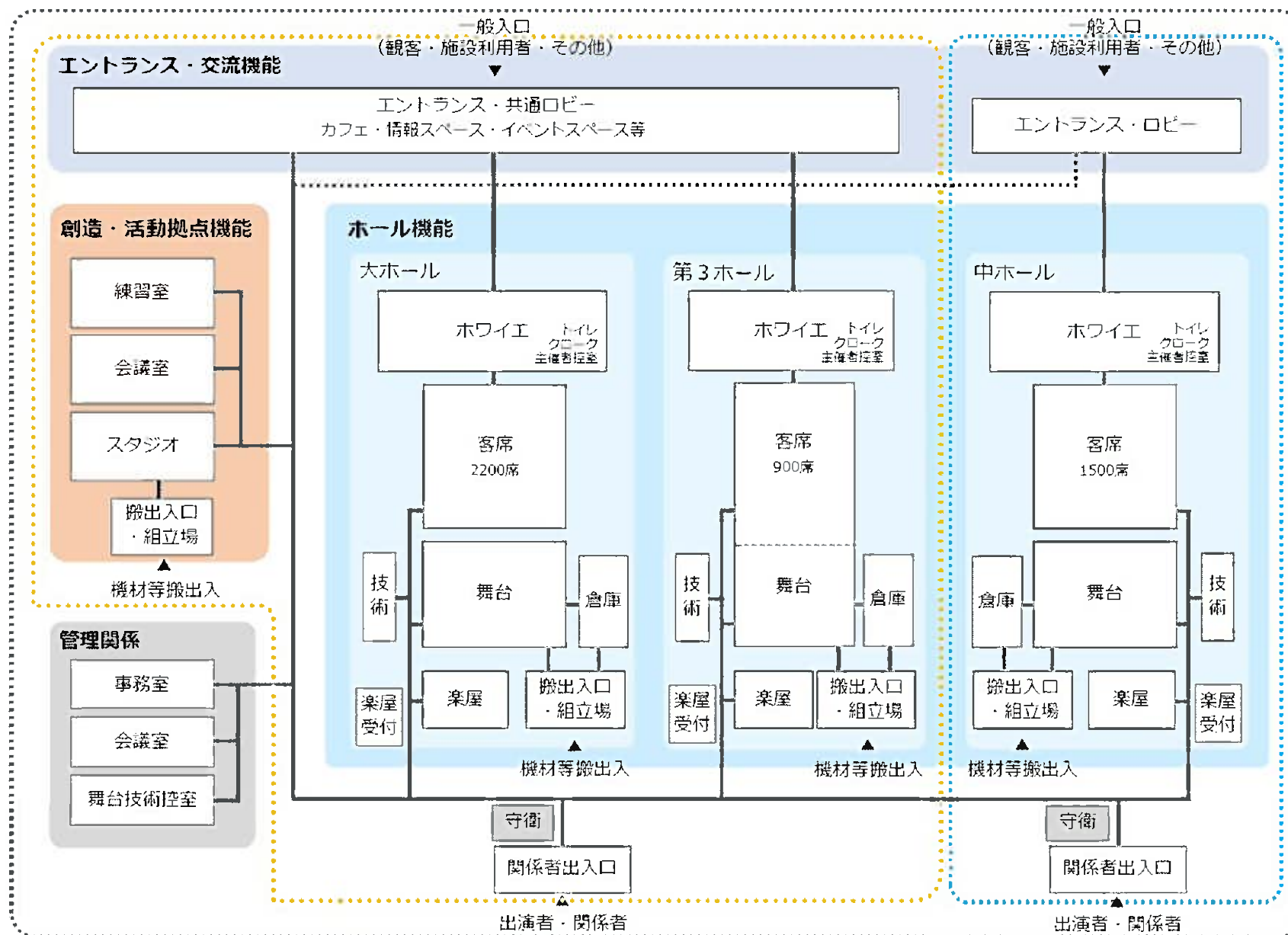
著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。

著作権等保護のため写真等の掲載を割愛しております。

2. 新たな劇場の施設構成案

2) 施設配置イメージ

(1) 機能連関図



2. 新たな劇場の施設構成案

2) 施設配置イメージ

(2) 現敷地と施設配置

新たな劇場は現在の市民会館街区及び古沢公園街区において整備する。

